



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社齒愛メディカル 上場取引所 東
コード番号 3540 URL <https://ci-medical.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 清人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 三好 誠治 TEL 076-278-8802
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	45,248	34.5	1,108	△56.5	1,285	△53.3	5,337	206.9
2023年12月期第3四半期	33,648	6.9	2,548	△19.7	2,752	△14.4	1,739	△17.1

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 5,276百万円 (198.6%) 2023年12月期第3四半期 1,767百万円 (△15.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	106.75	—
2023年12月期第3四半期	34.79	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。
2. 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
3. 当社は、2024年7月1日付で株式会社ニッセンホールディングスの株式を100%取得いたしました。当第3四半期連結会計期間において取得原価の配分が完了していないため、暫定的な会計処理によって取得時価純資産と同社株式取得価額の差額相当について算出し特別利益を計上しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	58,107	25,163	43.1
2023年12月期	41,506	20,139	48.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 25,060百万円 2023年12月期 20,058百万円

- (注) 1. 当社は、2024年7月1日付で株式会社ニッセンホールディングスの株式を100%取得いたしました。当第3四半期連結会計期間において取得原価の配分が完了していないため、暫定的な会計処理によって企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額を算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	25.22	25.22
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。
3. 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2023年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,553	48.1	2,349	△21.4	2,475	△24.9	6,130	194.4	122.62

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
 新規 5社（社名）株式会社ニッセンホールディングス、株式会社ニッセン、株式会社ニッセンライフ、株式会社アド究舎、株式会社マロスタイル

除外 ー社（社名）ー

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	50,000,000株	2023年12月期	50,000,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	940株	2023年12月期	825株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	49,999,129株	2023年12月期3Q	49,999,267株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(企業結合等関係)	9
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間における我が国経済は、経済活動の正常化やインバウンド消費の増加により、緩やかな景気の持ち直しが見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化やエネルギー価格・原材料価格の高止まりの影響、また急激な為替変動などにより、依然として不安定な状況が続いております。

このような経済状況の中、歯科関連業界におきましては、歯科医療費が引き続き増加傾向にあるなど、国内歯科関連業界全体の事業環境は緩やかな回復が見られるものの、急激な円安などの影響により先行きが不透明な状況が続いております。こうした中でも、歯科治療領域でのデンタルソリューション関連装置等がマーケットを牽引することにより、歯科機器・用品マーケットの増加傾向は続く見通しです。

当社グループにつきましては主に歯科関連商品、衣料品及びインテリア雑貨などを扱う通信販売事業を中心に新商品の販売及び個人医院・総合病院等の医科業界及び動物病院業界への参入拡大を引き続き進めるとともに、歯科医院及び動物病院等へ大型医療機器（デジタルレントゲン医療機器等）を販売しており、当社主催のデンタルショーや新機種投入等の効果もあり、確実に実績を積み重ねております。その一方で利益面では、円安基調や原材料価格の高騰の影響による商品調達価格上昇の影響が続いておりますが、2024年6月に歯科通販総合カタログを発刊し、価格改定により収益改善を図っております。また、歯科以外の通販事業におきましても、順次価格改定を実施しております。

その他の事業については、CAD/CAM歯科技工関連機器・システム販売事業及びCAD/CAM歯科技工物製作事業において2024年6月のIOS（口腔内スキャナ）の保険収載および歯科業界のDX化に伴うCADソフトウェアの販売増により、経営成績は堅調に推移いたしました。歯科医院等の医療機関取引先向け電力小売取次事業「C i でんき」におきましても、電力市場価格高騰の影響を当社で負担していることの影響を受けており前第1四半期会計期間では赤字となっておりましたが、取引条件の見直し及び事業経費削減等の施策により、前第2四半期会計期間より黒字に転じ収益が回復したため、現在積極的に営業活動を行っております。

また、昨年10月2日に竣工した新本社ロジスティクスセンターにおいて昨年9月よりテスト入出荷を開始したことから前第3四半期会計期間より同センターに係る減価償却が開始し、同センターの立ち上げに想定以上に時間を要した上、令和6年能登半島地震の影響もあり同センターへの完全移転が予定より遅れ、その間旧センターと並行稼働となりコスト増となったこと、また事業企画部門等での人員強化に伴う人件費増加等により、販売費及び一般管理費が増加しております。なお、3月末に当社の同センターへの移転が完了し、5月末にて当社子会社（株式会社デンタルフィット）を含めた同センターへの完全移転が完了しております。現在は安定稼働しており、出荷能力の増強も実現いたしました。今後も引き続き商品保管・出荷能力、低コストオペレーション能力を増強していく予定です。

なお、2024年7月1日付で株式会社ニッセンホールディングスの株式を100%取得し、新規連結したことにより、当第3四半期連結会計期間より同社グループの業績が反映されるため、売上高は大幅に増加いたしました。なお、主要な取得費用については当第3四半期連結会計期間に計上しております。また、同社グループの取得時価純資産と同社株式取得価額の差額相当について負ののれん発生益（特別利益）を見込んでおりますが、現在、企業結合日における識別可能資産及び負債の特定を精査中であり取得原価の配分は完了しておりません。よって、当第3四半期連結会計期間におきましては、暫定値として計上しておりますが、同社グループ子会社化の影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても増加いたしました。

以上のような背景のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は452億48百万円（前年同期比34.5%増）、営業利益は11億8百万円（同56.5%減）、経常利益は12億85百万円（同53.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は53億37百万円（同206.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ105億29百万円増加（59.0%増）し283億77百万円となりました。これは主として、商品及び製品が54億91百万円、現金及び預金が33億87百万円、受取手形及び売掛金が9億8百万円増加したこと等によるものであります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ60億72百万円増加（25.7%増）し297億29百万円となりました。これは主として、投資有価証券が58億7百万円、土地が16億34百万円増加した一方で、機械装置及び運搬具が9億42百万円、建設仮勘定が6億84百万円、建物及び構築物が2億50百万円減少したこと等によるものであります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ112億63百万円増加（54.0%増）し321億33百万円となりました。これは主として、電子記録債務が50億7百万円、短期借入金20億円、支払手形及び買掛金が13億83百万円増加したこと等によるものであります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ3億13百万円増加（62.9%増）し8億11百万円となりました。これは主として、資産除去債務が1億64百万円増加したことによるものであります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ50億24百万円増加（24.9%増）し251億63百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益53億37百万円及び剰余金の配当2億52百万円によるものであります。

なお、当第3四半期連結会計期間におきまして、株式会社ニッセンホールディングス、株式会社ニッセン、株式会社ニッセンライフ、株式会社アド究舎、株式会社マロンスタイルの5社が新たに当社の連結子会社になったことに伴い、資産合計及び負債合計が大幅に増加しております。当連結子会社化に伴い増加した資産及び負債の額については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」をご参照ください。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年11月7日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,698	5,086
受取手形及び売掛金	3,289	4,197
有価証券	106	100
商品及び製品	8,563	14,055
原材料及び貯蔵品	24	53
前渡金	709	823
未収入金	3,405	3,420
その他	76	672
貸倒引当金	△26	△31
流動資産合計	17,848	28,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,402	8,152
機械装置及び運搬具（純額）	10,413	9,471
土地	586	2,220
建設仮勘定	685	1
その他（純額）	382	455
有形固定資産合計	20,470	20,300
無形固定資産		
ソフトウェア	1,156	1,064
のれん	546	491
その他	93	26
無形固定資産合計	1,796	1,582
投資その他の資産		
投資有価証券	1,035	6,842
繰延税金資産	276	307
その他	130	773
貸倒引当金	△50	△76
投資その他の資産合計	1,391	7,847
固定資産合計	23,657	29,729
資産合計	41,506	58,107

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,726	3,109
電子記録債務	—	5,007
短期借入金	17,100	19,100
1年内返済予定の長期借入金	29	34
未払法人税等	382	131
未払金	1,305	2,681
賞与引当金	31	317
その他	294	1,751
流動負債合計	20,869	32,133
固定負債		
長期借入金	64	64
預り保証金	415	554
資産除去債務	—	164
その他	17	27
固定負債合計	498	811
負債合計	21,367	32,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	10	10
利益剰余金	20,079	25,164
自己株式	△0	△0
株主資本合計	20,088	25,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30	△8
繰延ヘッジ損益	—	△104
その他の包括利益累計額合計	△30	△112
非支配株主持分	80	102
純資産合計	20,139	25,163
負債純資産合計	41,506	58,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	33,648	45,248
売上原価	24,653	31,845
売上総利益	8,995	13,402
販売費及び一般管理費	6,447	12,294
営業利益	2,548	1,108
営業外収益		
受取利息及び配当金	27	35
為替差益	—	7
補助金収入	—	10
受取補償金	—	70
賃貸収入	19	17
デリバティブ評価益	164	—
持分法による投資利益	—	55
その他	32	24
営業外収益合計	244	221
営業外費用		
為替差損	24	—
支払利息	10	38
その他	5	6
営業外費用合計	40	44
経常利益	2,752	1,285
特別利益		
固定資産売却益	0	16
負ののれん発生益	—	4,737
特別利益合計	0	4,753
特別損失		
固定資産除売却損	0	3
減損損失	—	11
投資有価証券償還損	60	51
その他	0	3
特別損失合計	60	69
税金等調整前四半期純利益	2,692	5,969
法人税、住民税及び事業税	928	606
法人税等調整額	14	3
法人税等合計	942	610
四半期純利益	1,749	5,358
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,739	5,337

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）
四半期純利益	1,749	5,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	22
繰延ヘッジ損益	—	△104
その他の包括利益合計	17	△82
四半期包括利益	1,767	5,276
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,757	5,254
非支配株主に係る四半期包括利益	9	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ニッセンホールディングスの株式を取得したことにより、同社及び同社の関係会社である株式会社ニッセン、株式会社ニッセンライフ、株式会社アド究舎、株式会社マロンスタイルを連結の範囲に含め、ニッセン・クレジットサービス株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	404百万円	1,597百万円
のれんの償却額	54	54

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、主に歯科関連商品、衣料品およびインテリア雑貨などを扱う通信販売事業を中心とした事業活動を展開しておりますが、事業セグメントを集約した結果、現時点では報告すべきセグメントは通信販売事業のみであるため記載を省略しております。

（企業結合等関係）

（取得による企業結合）

当社は、2024年5月9日開催の取締役会において、株式会社ニッセンホールディングス（以下、「ニッセンホールディングス」といいます。）の全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。また、同日付けで株式譲渡契約を締結し、2024年7月1日付けで全株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 株式会社ニッセンホールディングス

事業の内容 ニッセングループ成長戦略の立案、ニッセングループポートフォリオの設計とM&A等による新規事業開発、ニッセングループ経営執行の監督

(2) 企業結合を行った主な理由

ニッセンホールディングスは、幅広い年齢層の女性顧客を全国に有しており、アパレルをはじめとした女性が必要としている商品を取り扱っておられ、「想像以上の「あったらいいな」を。期待以上の「ちょっといいな」を。」をミッションとし、定番品から顧客のニッチなニーズを汲み取った商品開発まで手掛けています。

当社が取引している歯科医院をはじめとした医療機関では圧倒的に女性医療従事者が多いため、当社が持つ女性医療従事者へアクセスできる環境と同社の持つ商品開発力を合わせることで、女性の持つ潜在ニーズに対応した事業を協働で展開でき、両社の企業価値の向上に資すると判断し、株式を取得し子会社化しました。

(3) 企業結合日

2024年7月1日（みなし取得日 2024年5月31日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2024年6月1日から2024年8月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金	4,100百万円
取得原価	4,100百万円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 99百万円

なお、一部が未確定であるため、暫定的な金額であります。

5. 発生した負ののれん発生益の金額及び発生原因

(1) 発生益の金額

4,737百万円

なお、当第3四半期連結会計期間末において、企業結合日における識別可能資産及び負債の特定を精査中であり、取得原価の配分は完了しておりません。よって、金額は暫定的な会計処理を行っております。

(2) 発生原因

被取得企業の企業結合時の時価純資産額が取得原価を上回ったため、その差額を計上するものです。

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定していないため、暫定的な金額であります。

流動資産	10,993百万円
固定資産	6,617百万円
資産合計	17,611百万円
流動負債	8,421百万円
固定負債	352百万円
負債合計	8,773百万円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。